

科目名	特別演習（卒業必修）			
授業形態	演習	学年	2	
開講時期	2021年度 前期～後期	単位数	2	
担当教員	葉山 亮三			
内容および計画	<p>幼児期における発達段階の変化に関心を持ち、それぞれの年齢時期に現れる造形表現、身につける造形能力の変化を学び、幼児の実態を把握する。造形素材、技法、作品を学び、ものづくりの持つ様々な表現とそれぞれのをねらいを理解する。幼児の立場、指導者の立場を模擬授業を体験することで考える。幼児に対して行う造形実践案について、内容と流れを検討し、考案する。一連の流れの中で、受講者の関心に即したテーマを設定し、各自研究を進め論文を作成する。</p> <p>①ものづくり、造形教育の知識、技術を習得する。②実践的な活動を計画し、行う。③各自の研究テーマを設けて、考察し、論文を作成する。</p>			
1	オリエンテーション			
2	ものづくりの歴史			
3	様々な表現法①			
4	様々な表現法②			
5	幼児の造形表現 ～発達段階の理解～			
6	教材研究①			
7	教材研究②			
8	ワークショップ① ～準備～			
9	ワークショップ② ～体験～			
10	ワークショップ③ ～準備～			
11	ワークショップ④ ～体験～			
12	造形プログラム① ～内容検討～			
13	造形プログラム② ～プレゼンテーション～			
14	造形プログラム③ ～試作～			
15	造形プログラム④ ～準備～			
16	造形プログラム⑤ ～実践～			
17	造形プログラム⑥ ～振り返り～			
18	論文テーマの検討			
19	論文の作成方法 ～文献考証～			
20	論文の作成方法 ～データ結果のまとめ～			
21	論文作成① ～導入～			
22	論文作成② ～仮説～			
23	論文作成③ ～検証～			
24	中間発表			
25	論文作成④ ～中間発表を踏まえて～			
26	論文作成⑤ ～考察～			
27	論文作成⑥ ～まとめ～			
28	発表①			
29	発表②			
30	まとめ			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年

参考書	適宜、資料を用意します。			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	受講態度（企画、発案、姿勢など）			20
	提出課題等			30
	論文			50
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の造形表現と発達段階について理解し、実践できる力を養う。 ・ 幼児の造形表現について研究し、論文をまとめる。 			
先修条件				
実務経験				
その他	各自が造形表現を楽しみ、伝える力を持ちましょう。			